

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	消防防災部消防防災課	■担当係	消防係
■評価事業名称	婦人消防協力隊連絡協議会運営費補助金		
■事業開始年度			
■評価事業コード	080100 - 016	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり	
	■基本施策	03 安全・安心な地域社会の構築	
	■施策	01 総合的な防災対策の推進	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称	北上市婦人消防協力隊活動費補助金交付要綱		
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	一般家庭への防火思想の普及。北上市婦人消防協力隊連絡協議会運営費用負担		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	婦人消防協力隊連絡協議会運営費補助	婦人消防協力隊連絡協議会	会員数 35隊 6,000人	会員数 34隊 6,306人○行事:消防演習、火災予防広報(市民パレード)、防災訓練、出初式○活動:火災予防広報(春、秋)、研修会、各地区の婦人消防協力隊の活動支援

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	680	717	674	674	
人件費	1,312	1,270	768	915	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,992	1,987	1,442	1,589	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	組織率を高める	38隊	38隊	38隊	34隊	消防団の部(64部)単位での編成
02						
03	訓練や広報活動の実施	5回	5回	5回	5回	消防演習、消防出初式、春季・秋季火災予防広報、市民パレード火災予防広報

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

家庭から火をださないという婦人消防協力隊の目的達成のため、行事での火災予防活動等は概ね順調である。

問題点・課題等

仕事、子育てなどの理由で若い会員が入らず、会員が高齢化してきており、活動を休止せざるを得ない隊がでてきている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

家庭から火災を出さないという理念のもと婦人消防協力隊が結成されており、広報活動や情報交換により、家庭の火災予防思想の普及に努めている。平成30年4月からは飯豊地区で新たに結成される等、自主防災の視点からも必要な組織である。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了